

今号には、「ぐんま広報11月号」が折り込まれています。ぜひご覧ください

令和2年(2020年) 11月1日(日)

群馬県議会だより

第86号

題字は群馬県立前橋西高等学校3年生 書道部 青柳 菜摘さんの書道作品です。

発行●群馬県議会 編集●県議会図書広報委員会
〒371-8570 前橋市大手町1-1-1 ☎027-226-4131 (政策広報課)

第3回前期定例会開催

「新型コロナウイルス感染症対策」など
総額1,127億3千万円余の補正予算案を可決



スカイブリッジ (上野村)
長さ225mの歩行者専用つり橋。高さ90mからの景色は空中散歩をしているかのような絶景です。

第3回前期定例会のあらまし

◇令和2年第3回定例会は、9月18日から12月15日までの会期89日間で開催されています。
今回は、10月12日までの前期定例会についてお知らせします。
10月13日以降については、次号に掲載します。

【議案】

9月18日には、知事から、新型コロナウイルス感染症対策として412億8,707万円を増額する一般会計補正予算案や県立学校ICT環境整備に係る契約など、計18議案が提出されました。

また、9月30日には、新型コロナウイルスとインフルエンザの同時流行を見据えた対策に係る緊急対策として7億8,555万円を増額する一般会計補正予算案が提出されました。

議会からは、委員会提出議案として、特別委員会の設置議案1件、養豚場を豚熱(CSF)から守るための意見書案など3件、「新型コロナウイルス感染症」感染者の個人情報保護についての決議案1件の計5議案が発議されました。

【質疑及び一般質問】

12人の議員による質疑及び一般質問のほか、県立学校ICT環境整備に係る契約などについて3人の議員が質疑を行いました。

【常任委員会・特別委員会】

各常任委員会、各特別委員会が開催され、付託議案や所管する事項などについて審査・調査しました。

【議決】

常任委員会の審査結果などについて各委員長から報告が行われ、議案及び請願について討論と採決が行われました。

知事から提出された議案は、決算特別委員会に付託された決算に係る6議案を除き、全て可決・同意されました。

また、委員会から発議された5議案は、いずれも可決されました。

◇可決された主な議案

- 令和2年度群馬県一般会計補正予算(第6号・第7号)
- 令和2年度群馬県中小企業振興資金特別会計補正予算(第5号)
新型コロナウイルス感染症対策として、検査・相談体制等の整備、医療提供体制の整備、福祉サービス提供体制の確保、産業の支援と生活の不安への対応などを行うため、増額しようとするもの
- 群馬県新型コロナウイルス感染症対策関連制度融資基金条例
新型コロナウイルス感染症対応資金の利子補給等の後年度負担に備えるため、基金を設置しようとするもの
- 群馬県交通安全条例の一部を改正する条例
自転車の乗車用ヘルメット着用の努力義務や自転車損害賠償保険等への加入の義務について定めようとするもの

◇可決された意見書

- 養豚場を豚熱(CSF)から守るための意見書
- 国土強靱化に向けた防災・減災対策の推進を求める意見書
- 軽油引取税の課税免除制度の継続もしくは恒久化を求める意見書

◇可決された決議

- 「新型コロナウイルス感染症」感染者の個人情報保護についての決議

閉会中も積極的な委員会活動 を行っています。

県議会に設置されている委員会は、担当する所管事項について、審議の参考とするため、閉会中も現場に出向いて調査活動を行っています。

今回は、常任委員会の主な調査の状況をご紹介します。

総務企画常任委員会

委員長：川野辺達也、副委員長：松本基志
委員：狩野浩志、福重隆浩、井田泉、臂泰雄
八木田恭之、入内島道隆、矢野英司
秋山健太郎

★令和2年8月27日(木)

①tsulunos(群馬県動画・放送スタジオ)(前橋市)

調査目的 情報発信

県の魅力や県政情報の発信拠点であるtsulunos(ツルノス)の運営状況について調査を行いました。



tsulunosにて

厚生文化常任委員会

委員長：穂積昌信、副委員長：高井俊一郎
委員：岩井均、橋爪洋介、伊藤祐司、水野俊雄、
井下泰伸、加賀谷富士子、金沢充隆、牛木義

★令和2年8月27日(木)

①東部児童相談所(太田市)

調査目的 私学振興・児童福祉

年々、増加している相談受件数の状況、相談対応や心理判定、医学診断、里親委託・施設入所等の業務状況や新設した一時保護所の現状等について調査を行いました。



一時保護所にて

環境農林常任委員会

委員長：泉沢信哉、副委員長：斉藤優
委員：久保田順一郎、中島篤、金井康夫、金子渡
本郷高明、今泉健司、大林裕子

★令和2年8月27日(木)

①嬬恋山女岩魚生産組合・有限会社鱒谷養魚場(吾妻郡嬬恋村)

調査目的 食料・農業・農村振興対策

県産ブランド魚であるギンヒカリの販路拡大や、学校給食への食材提供の取組状況等について調査を行いました。



有限会社鱒谷養魚場にて

②令和元年台風第19号災害復旧現場(吾妻郡嬬恋村)

調査目的 農林漁業災害対策

昨年の台風第19号の被害が大きかった嬬恋村における被災・復旧状況について調査を行いました。

産経土木常任委員会

委員長：多田善洋、副委員長：相沢崇文
委員：中沢丈一、星名建市、後藤克己、岸善一郎
酒井宏明、薬丸潔、井田泰彦、神田和生

★令和2年9月8日(火)

①正田醤油株式会社(館林市)

調査目的 企業誘致の推進

同社の伝統と技術を生かした事業や取組について調査を行いました。

②日清製粉グループ製粉ミュージアム(館林市)

調査目的 企業誘致の推進

日清製粉株式会社の創業の地「館林」における歴史や取組、機械製粉の黎明期から現代までの製粉テクノロジーについて調査を行いました。

③板倉ニュータウン(邑楽郡板倉町)

調査目的 公営企業の推進

板倉ニュータウンの現状や今後の取組について調査を行いました。



板倉ニュータウン販売センターにて

文教警察常任委員会

委員長：大和勲、副委員長：森昌彦
委員：星野寛、角倉邦良、あべともよ、安孫子哲
小川晶、伊藤清、亀山貴史

★令和2年8月26日(水)

①県立文書館(前橋市)

調査目的 社会教育の推進

同館の施設の状況や運営の実態について調査を行いました。

②県立図書館(前橋市)

調査目的 社会教育の推進

同館の施設の状況や運営の実態、新型コロナウイルス

に感染防止対策について調査を行いました。



県立図書館にて

③総合交通センター(前橋市)

調査目的 警察署等の整備促進

同センターの運営の状況や新型コロナウイルスの影響と今後の対応策について調査を行いました。

このほか、常任委員会や特別委員会における調査・審議の状況は、議会ホームページに掲載されています。ぜひご覧ください。

なお、新型コロナウイルス感染症の影響により、今年度の県外調査は中止となりました。

委員会の活動状況
についてはこちら



全員協議会を開催しました

県内の養豚場におけるCSF(豚熱)発生を受けて、議員全員で情報を共有するため9月30日に全員協議会を開催し、県執行部などに説明を求め、質疑を行いました。



全員協議会の様子

※全員協議会は、地方自治法の定めにより設置された、議員全体の協議及び調整の場です。

字幕表示の実証実験を実施しました

聴覚に障害をお持ちの方をはじめ、多くの方々が傍聴しやすい議会運営に向けて、本会議場の傍聴席にモニターを設置し、字幕表示の実証実験を行いました。



実証実験では傍聴席に字幕表示用のモニターを設置

質疑及び一般質問

令和2年9月25日、28日、30日に開催された質疑及び一般質問では、次の議員が質問を行いました。

質疑及び一般質問の映像はこちら



○質疑及び一般質問の中から一部を掲載します。

9月25日(金)



◎特別支援学校の施設整備について

自由民主党 腎 泰雄

Q 施設の老朽化や教室不足の状況、児童生徒数の推移について伺います。また、伊勢崎特別支援学校など早急な整備が必要な学校に対する今後の取組についても伺います。

A 全体の児童生徒数が減少する中、特別支援学校の児童生徒数は平成19年度の約1.3倍に増加し、教室も4校で29教室が不足しています。修繕しながら使用してきた校舎の老朽化も課題となっており、保護者の方々が安心して子どもを通わせることができるような学校の整備に計画的に取り組んでまいります。



◎ウィズコロナ時代の観光について

リベラル群馬 後藤 克己

Q コロナ禍において、従来の観光素材を活用した情報発信は難しい面もありますが、今後、観光素材の発掘や磨き上げ、情報発信をどのように進めていくのでしょうか。

A 現在、有望な観光素材について、新しい生活様式を踏まえた視点からさまざまな検討を行っています。tsulunosを使った動画による観光情報発信など、情報発信の思い切ったデジタル化に取り組み、本県の恵まれた自然環境や観光資源を生かし、開放的で感染リスクの低い新たな観光スタイルをいち早く提案し、ウィズコロナ時代の観光誘客を先取りしてまいります。



◎CSF(豚熱)ワクチン接種費用の負担軽減について

自由民主党 狩野 浩志

Q 全国第4位の飼養頭数を誇る本県の競争力を確保していくため、手数料の減免等による養豚農家の負担軽減が必要と考えますが、いかがでしょうか。

A 4月以降はワクチン接種の実費相当額で1頭当たり340円の手数料を納付いただいております。本県では毎月10万頭以上の豚にワクチン接種を行っているため、家畜防疫員の人件費相当額を手数料で賄っておらず、不足分は県が負担しているのが現状です。接種費用は養豚農家の大きな負担となっていますので、改めて国に対して財政的な支援などを強く働きかけてまいります。



ワクチン接種の様子



◎令和元年台風第19号による多野藤岡地区の災害復旧状況と防災減災対策の今後の取組について

令明 金沢 充隆

Q 多野藤岡地区の災害復旧状況と今後の防災減災対策の取組について伺います。

A 県・市町村管理施設の復旧工事の進捗状況は、9月末で発注は約9割、完成は約2割ですが、今年度末までには、発注は100%、完成は約7割を目指し、現場管理に取り組んでまいります。今後は、治水対策の重点的な推進などのハード面と、地域ごとの防災マップづくりなどのソフト面が一体となった防災減災対策を進めてまいります。

9月28日(月)



◎国道354号館林インター前交差点の課題と今後のあり方について

自由民主党 多田 善洋

Q 国道354号館林インター前交差点で慢性化している渋滞について、県の現状認識と今後の対応について伺います。

A この交差点では、太田方面からの車両により、時間帯によっては500mを超える渋滞が確認されています。昨年11月には時差式信号を右折矢印信号に変更し、現在、右折矢印信号の青時間の延長などにより、渋滞が緩和できるような進めているところです。今後も警察と連携を図るとともに、対策の効果を見極めた上で、交差点の構造改良の必要性について検討してまいります。



◎障がい者の分身ロボットOriHime(オリヒメ)の活用について

公明党 水野 俊雄

Q デモンストレーションも交えてOriHimeを活用し、広く啓発すべきと思いますがいかがでしょうか。

A オリヒメは、外出が困難な障がい者でも遠隔操作で簡単に動かせるといった特長があり、障害者雇用の推進にあたり期待できる発明です。一般県民や県内企業が直接オリヒメに触れる機会をつくることは、新たな障がい者雇用の可能性を理解してもらう上で意義深く効果も期待されますので、今後の障害者雇用の啓発事業の中での活用を検討してまいります。



OriHime(オリヒメ)



◎県立図書館への電子書籍導入の取組について

自由民主党 齊藤 優

Q 図書館サービスの一環として、県立図書館に電子書籍を導入すべきと考えますが、県の取組状況について伺います。

A 電子書籍の貸出サービスには、利用者が図書館に出向く必要がなくなり、文字の読み上げや拡大によりバリアフリーが図られるなどのメリットがある一方で、コンテンツの少なさやコストの高さなどの課題もあります。先行事例の利用実績やコストなどの情報収集を行い、コンテンツの広がりも見極めながら、今後の在り方を検討してまいります。



◎東邦亜鉛の有害スラグ完全撤去について

日本共産党 伊藤 祐司

Q 県の環境行政への信頼を取り戻すには、東邦亜鉛等の違反企業に対する厳しい処分と、住民が求める有害スラグの完全撤去を実現させるための毅然とした対応が必要ではないでしょうか。

A 土壌環境基準等を超過する有害物質が検出された非鉄スラグが、路盤材料として出荷されたことは、極めて遺憾であり、深刻に受け止めています。県では、東邦亜鉛等に対し、廃棄物処理法及び県の基準に基づき、行政処分を行ったところです。また、これまで土壌汚染は確認されていませんが、引き続き、同社に対して、使用箇所の全容解明、環境調査及び必要な措置の早期完了を指導します。

9月30日(水)



◎千代田町と熊谷市を結ぶ利根川新橋の架橋について

自由民主党 森 昌彦

Q 利根川新橋の進捗状況と今後どのように取り組んでいくかについて伺います。

A 利根川新橋のルート選定において最大の課題となっていた「妻沼グライダー滑空場」等の移設について、埼玉県と合同で関係機関と具体的な調整を始めたところです。今後も、利根川新橋については、見直し中の県土整備プランでも「着手に向けて検討する事業」と位置づけ、引き続き、埼玉県と連携しながら、事業化を目指し、ルートや道路計画の熟度を上げるよう努力してまいります。



◎コロナ禍での誹謗・中傷について

リベラル群馬 本郷 高明

Q コロナ禍での誹謗・中傷が問題となっており、県を挙げて、誹謗・中傷を防止するための取組が必要と考えますが、知事の所見を伺います。

A 新型コロナウイルスに感染した方などに対する誹謗中傷等は、あってはならないことです。県は、あらゆる広報媒体を活用して、差別や偏見、誹謗中傷等の防止を呼びかけています。また、インターネット上の誹謗中傷等に対しては、全国初となる条例を策定中です。引き続き、あらゆる場面を捉えて、差別や偏見、誹謗中傷等の防止に向けて、粘り強く発信してまいります。



◎県防災ヘリコプター後継機導入の進捗状況等について

自由民主党 伊藤 清

Q 後継機導入に係る進捗状況と運航再開に向けた取組について伺います。

A 防災ヘリコプターの後継機は、県への12月納入に向けて、国内の工場に必要な装置の取り付けや、試験飛行などを行っているところです。運航再開に向けて、群馬ヘリポートに防災航空センターを設置し、ヘリコプターの運航管理に精通した自衛隊OBを採用したほか、運航に関する規程類の見直しを行っており、確実な安全確保の手順や体制の整備を進めているところです。



防災ヘリコプター「はるな」イメージ図



◎学校教育におけるICT環境整備後の活用について

自由民主党 中沢 丈一

Q 県立高校や小中学校において、ICT環境の整備が進められた後、どのように活用していくかが重要ですが、今後の活用に向けた取組について伺います。

A ICTを活用して、個別最適化された学習を推進し、子どもたち一人一人の資質・能力をより伸ばしていくことが大切だと考えています。県立高校等では、ICTを活用した群馬ならではの教育モデルを全校で推進していき、小中学校では、思考を深める協働学習やAIDRILを活用した個別最適化した学び等を行う予定です。

若者の政治への関心を高める取組 大学生と県議会議員が意見交換 「ぐんまシチズンシップ・アカデミー」を開催



意見交換の様子

若者の政治への関心を高めるため、第3回前期定例会中の9月25日(金)に「ぐんまシチズンシップ・アカデミー」を開催しました。

新型コロナウイルス感染症対策を行いながらの開催となりましたが、県民健康科学大学と関東学園大学の2大学から計15名の学生が参加し、大学生の皆さんは、本会議を傍聴した後に8名の県議会議員と積極的に意見交換を行い、政治や議会への関心を深めました。

【参加大学】

県民健康科学大学、関東学園大学

参加学生の感想



県民健康科学大学1年 梅澤 愛純さん
日常生活では体験できない経験ができて、政治について興味が高まりました。県政の課題や取組について議員の考えを知ることができたので、若者の1人として政治に参加しようと思うきっかけになりました。



関東学園大学1年 田村 龍海さん
政治に対する不安などを議員に伝えることができ、しっかり回答もしてもらえたので、自分が感じていた不安も解消されました。これからは、積極的に政治に向き合ってみようと思います。

参加議員の感想



議会基本条例推進委員長

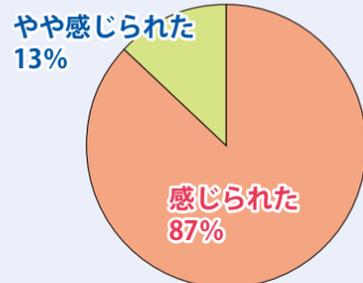
久保田 順一郎議員

「議員」というと、若い方には別世界の人のように感じてしまうかもしれませんが、そうではありません。皆さんの声を反映するのが、今の実際の政治なのだということが、この事業を通じて、若者に伝わっていくことを期待しています。

参加者アンケート

◇質問
「ぐんまシチズンシップ・アカデミー」を経験して、議員・県議会を身近に感じられるようになりましたか。

◇結果
参加者の87%が「感じられた」、13%が「やや感じられた」と回答。



傍聴の様子

トピックス Topics

◎桐生市議会と意見交換を実施しました



あいさつを行う萩原議長

令和2年8月6日(木)に桐生市議事堂において「桐生市議会と群馬県議会との意見交換会」が開催されました。

全国の地方議会の議会改革度を調査する早稲田

大学マニフェスト研究所の「議会改革度調査2019」において、桐生市議会は全国総合順位で4位(機能強化部門1位)、群馬県議会は都道府県別順位で総合5位と共に高評価を得ており、今後一層の議会改革推進の参考とするため、相互の議会改革の取組等に関して活発な意見交換を行いました。

県議会では、弔電を自粛する申し合わせを行っています。

◎県議会だよりはスマートフォン等でご覧になれます。



◎過去の県議会だよりはこちらからご覧ください。



令和2年第3回後期定例会のご案内

会期は11月25日から12月15日の予定です。

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、議場での傍聴はご遠慮いただき、テレビやインターネットによる中継をご覧ください。



月 日	曜日	議事予定	月 日	曜日	議事予定
11月25日	水	本会議 (後期開会・提案説明)	12月7日	月	常任委員会
30日	月	本会議 (質疑及び一般質問)	8日	火	
12月1日	火		10日	木	特別委員会
3日	木		15日	火	本会議 (委員長報告・議決・閉会)

(開会はおおむね午前10時からです。)

※会期は予定ですので、変更される場合もあります。

◎県議会中継

テレビ

★群馬テレビ 午前10時～ <生中継>
本会議(質疑及び一般質問)をご覧ください。

インターネット

★県議会ホームページ「議会中継」
<生中継><録画>
本会議の全日程をご覧ください。

スマートフォンやタブレットは
こちらからご覧いただけます。



群馬県議会インターネット中継



県議会ホームページ

群馬県議会

検索

県議会の最新情報は公式SNSでも発信しています。



◎「県議会だより」は年4回発行しています。

次号は、令和3年1月1日(金)発行予定です。

◎「県議会だより」についてのご意見を政策広報課までお寄せください。

☎027-897-2891 FAX027-243-4211 ✉giseisaku@pref.gunma.lg.jp